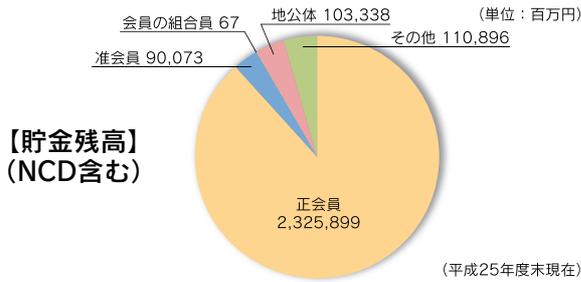


# 社会的責任と地域貢献活動

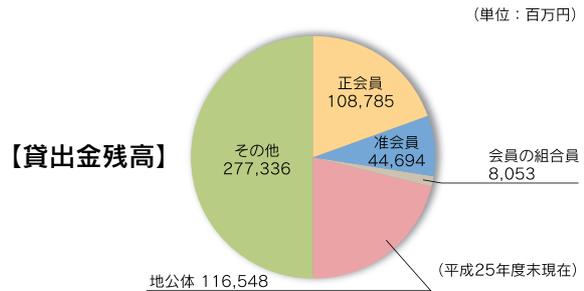
## 地域経済活性化への貢献

当会は、地元のJA等が会員となって、お互い助け合い発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の農業専門金融機関であるとともに、地域経済の活性化に資する地域金融機関です。

### 地域からの資金調達状況



### 地域への資金供給状況



### 【地方債引受】

平成25年度の北海道債の引受（銀行等引受債）は130億円でした。

これは当年度内総発行額1,650億円に対し7.87%のシェアを占めており、引受全金融機関別のシェアでは上位第4位という重要な位置付けにあります。

道内農畜産物の販売代金等の資金を会員JAから貯金として吸収し、北海道債の引受をはじめ道内地方公共団体への融資として還元することにより、北海道経済の持続的発展に寄与し、地域社会の活性化に貢献するよう取り組んでおります。

## 北海道農業への貢献

### JAバンク北海道の多様な農業資金

対象者や資金用途に応じ、さまざまな資金を設けています。道内JA統一資金のほか、北海道信連独自資金も設けており、JAバンク北海道が一体となった農業担い手等への金融対策強化に取り組んでおります。

### 【道内JA統一資金】

資金名	資金の使いみちなど	残高
JA フルスベックローン	農機具や格納庫など、比較的小口の設備資金	61,661
JA 農業経営緊急支援資金	飼料費などの生産資材の高騰あるいは災害などにより緊急に必要となる中・長期運転資金	10,322
JA 農業経営サポートローン	農業者戸別所得補償制度に係る交付金等入金までの間に必要となる運転資金	138
JA 農業経営ステップアップローン	農業経営に必要な設備資金や中・長期運転資金	3,068
JA 営農応援ローン	農業経営に必要な短期運転資金	880
JA 新規就農応援資金	新規就農者の農業経営にかかる設備・運転資金	67
JA 再生可能エネルギー施設等資金	再生可能エネルギー利用の取り組みを支援するための発電・蓄電設備取得資金	91

(単位:百万円)

【北海道信連独自資金（農家組合員向け）】

(単位:百万円)

資金名	資金の使いみちなど	残高
農業経営ステップアップ資金	農地・施設・機械の取得等、農業経営改善に要する資金	5,362
信連 新規就農者資金	新規就農者が、農業経営を行っていく際に必要となる資金（営農資金・住宅資金）	269
信連 農業後継者応援資金 信連 中核農業者応援資金	農業経営の安定化・高度化に資するための既往農業負債の借換並びに借換に必要な費用	453
信連 農業法人経営応援資金	農業法人が、農業経営を行っていく際に必要となる資金（運転資金・機械・設備資金）	128

【北海道信連独自資金（総合JA向け）】

(単位:百万円)

資金名	資金の使いみちなど	残高
農業経営緊急支援資金	飼料費などの生産資材の高騰あるいは災害などにより、緊急に必要なとなる運転資金について、JAが農業者の皆さまにご融資しようとする場合に、その原資をJAに融通する資金	4,611
共同利用施設等設備資金	組合員が利用する共同利用施設等をJAが建設するための設備資金	18,961

当会では独自資金の他に、制度資金、受託資金も取り扱っております。

【制度資金取り扱い状況】

(単位:百万円)

資金名	残高
農業近代化資金	7,939

【受託資金取り扱い状況】

(単位:百万円)

資金名	資金の使いみちなど	残高
日本政策金融公庫 (農林水産事業)	生産力の維持増進・食料の安定供給の確保に必要な資金をお取り扱いしております。	219,600
日本政策金融公庫 (国民生活事業)	教育を受けるために必要な資金をお取り扱いしております。	926
住宅金融支援機構	災害関連融資等政策的に重要なものを除いて、原則として新規のお取り扱いはしていません。	35,313

社会的責任と地域貢献活動



# 社会的責任と地域貢献活動

## ◆「経営者保証に関するガイドライン」への対応方針について

経営者保証に関するガイドライン研究会（全国銀行協会および日本商工会議所が事務局）が公表した「経営者保証に関するガイドライン」を踏まえ、当会は、本ガイドラインを尊重し、遵守するための態勢整備を実施致しました。

当会は、今後、お客さまと保証契約を締結する場合、また、保証人のお客さまが本ガイドラインに則した保証債務の整理を申し立てられた場合は、本ガイドラインに基づき、誠実に対応するよう努めてまいります。

## ◆金融円滑化の取り組みについて

### 金融円滑化にかかる基本方針

当会は、「健全な事業を営む農業者をはじめとする地域のお客さまに対して必要な資金を円滑に供給していくこと」を、「最も重要な役割のひとつ」として位置付け、公共性と社会的責任を強く認識し、その適切な業務の遂行に向け、以下の方針を定め、取り組んでいます。

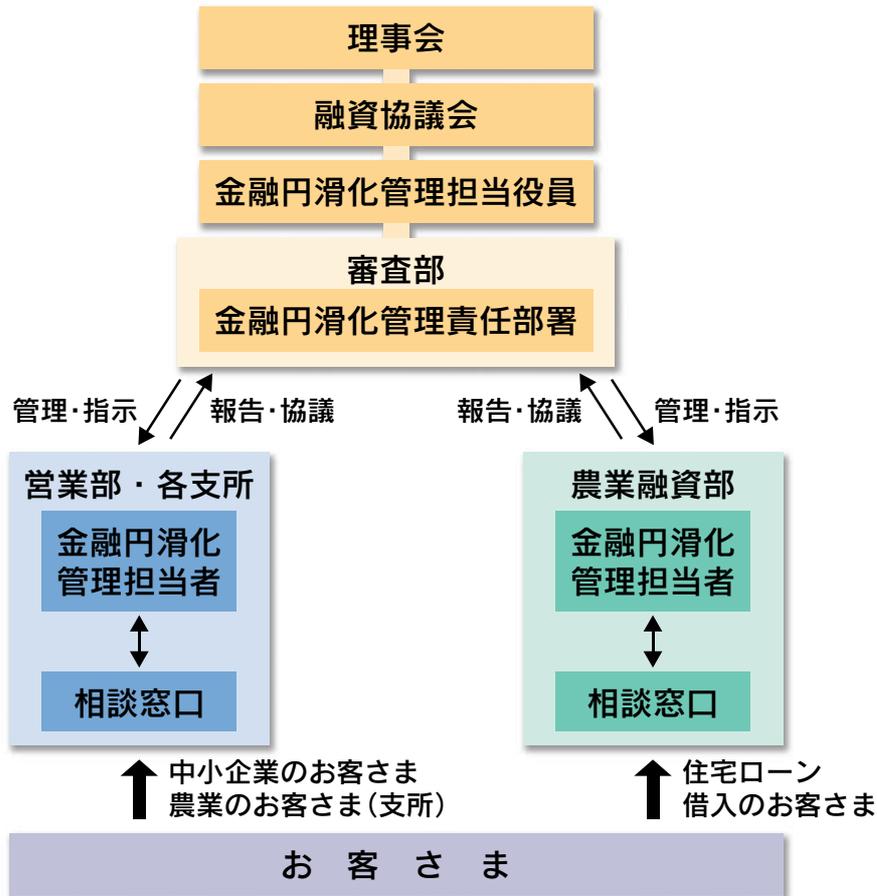
1. 当会は、お客さまからの新規融資や貸付条件の変更等の申込みがあった場合には、お客さまの特性および事業の状況を勘案しつつ、できる限り、柔軟に対応するよう努めます。
2. 当会は、事業を営むお客さまからの経営相談に積極的かつきめ細かく取り組み、お客さまの経営改善に向けた取り組みをご支援できるよう努めてまいります。  
また、役職員に対する研修等により、上記取り組みの対応能力の向上に努めてまいります。
3. 当会は、お客さまから新規融資や貸付条件の変更等の相談・申込みがあった場合には、お客さまの経験等に応じて、説明および情報提供を適切かつ十分に行うように努めてまいります。  
また、お断りさせていただく場合には、その理由を可能な限り具体的かつ丁寧に説明するよう努めます。
4. 当会は、お客さまからの、新規融資や貸付条件の変更等の相談・申込みに対する問い合わせ、相談および苦情については、公正・迅速・誠実に対応し、お客さまの理解と信頼が得られるよう努めてまいります。

5. 当会は、お客さまからの新規融資や貸付条件の変更等の申込み、事業再生ADR手続の実施依頼の確認または地域経済活性化支援機構もしくは東日本大震災事業者再生支援機構からの債権買取申込み等の求めについて、関係する他の金融機関等（政府系金融機関等、信用保証協会等および中小企業再生支援協議会を含む。）と緊密な連携を図るよう努めてまいります。  
また、これらの関係機関等から照会を受けた場合は、守秘義務に留意しつつ、お客さまの同意を前提に情報交換しつつ連携に努めます。
6. 当会は、お客さまからの上述のような申込みに対し、円滑に措置をとることが出来るよう、必要な体制を整備いたしております。  
具体的には、
  - (1) 代表理事理事長以下、役員並びに関係部長を構成員とする「融資協議会」にて、金融円滑化にかかる対応を一元的に管理し、組織横断的に協議します。
  - (2) 理事資金運用本部長を「金融円滑化管理責任者」として、当会全体における金融円滑化の方針や施策の徹底に努めます。
  - (3) 営業部、農業融資部、各支所に「金融円滑化管理担当者」を設置し、各部署における金融円滑化の方針や施策の徹底に努めます。
7. 当会は、本方針に基づく金融円滑化管理態勢について、その適切性および有効性を定期的に検証し、必要に応じて見直しを行います。

## ◆ 金融円滑化にかかる体制整備について

当会では、金融円滑化にかかる対応措置を適切に把握し対応するため、以下の体制を整備しております。

【お借入条件の変更等に関する申込みに対する対応体制】



社会的責任と地域貢献活動

## ◆ 金融円滑化にかかる実施状況について

【債務者が中小企業者である場合】

(金額単位：百万円)

対象期間：21年12月～26年3月末	平成24年3月末		平成25年3月末		平成26年3月末	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
貸付の条件の変更等の申込みを受けた貸付債権の数、額	22	3,458	33	5,325	42	6,689
うち、実行に係る貸付債権の額	21	3,454	31	5,302	40	6,666
うち、謝絶に係る貸付債権の額	0	0	0	0	0	0
うち、審査中の貸付債権の額	0	0	0	0	0	0
うち、取下げに係る貸付債権の額	1	4	2	23	2	23

※件数・金額は21年12月からの累計

【債務者が住宅資金借入者である場合】

(金額単位：百万円)

対象期間：21年12月～26年3月末	平成24年3月末		平成25年3月末		平成26年3月末	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
貸付の条件の変更等の申込みを受けた貸付債権の数、額	0	0	0	0	0	0
うち、実行に係る貸付債権の額	0	0	0	0	0	0
うち、謝絶に係る貸付債権の額	0	0	0	0	0	0
うち、審査中の貸付債権の額	0	0	0	0	0	0
うち、取下げに係る貸付債権の額	0	0	0	0	0	0

※件数・金額は21年12月からの累計

# 社会的責任と地域貢献活動

## JAの融資体制強化への取り組み

JAバンク北海道では、農業者の経営状況に応じた融資体制強化のため、融資対応の一層の迅速化と高度化に取り組んでおります。

## JAバンク北海道農業融資専門委員会・地区戦略会議の取り組み

JAバンク北海道では平成23年に創設した「JAバンク北海道農業融資専門委員会」にて、農業金融商品の企画や戦略的課題への取り組みを協議しています。

専門委員は地域事情に精通し専門的知識を有するJA実務者等により構成され、アドバイザーとして農林中金、オブザーバーとしてJA北海道中央会、北海道農業信用基金協会が参加し、施策検討等が行われております。

また、各地区に設置された戦略会議（全体会議・農業融資部会）では、JAバンク担い手金融リーダーを中心に地区の実情にあわせた協議を行っています。

なお、JAバンク北海道では職員の実務処理能力・融資渉外能力の向上および農業融資に関する知識の習得を図るため、「JAバンク農業金融プランナー」資格制度の取得に取り組んでおり、現在の資格保有者数は460名となっています。

### 協議事項

- 農業者の信用力に応じた貸付手法の導入について
- 農業法人支援への取り組みについて
- 負債対策者の経営改善に向けた検討について
- 農業融資に係る人材育成について

など

※JAバンク担い手金融リーダー

農業金融実務の専門家として設置を進めてきたもので、現在全国で2,013名を数え、道内においても284名が各JAで活躍しております。



## 農業法人・農業者向けフォーラムの開催

本フォーラムは、農業法人・農業者への支援に向けた取り組みの一環として、JAバンク北海道が主催し、JAグループ北海道が一体となって開催しているものです。

農業法人経営者や個人農業者を対象に、農業経営を考える上で一助となるようなソフト面での機能還元を目的に、11月に札幌で、2月に釧路でフォーラムを開催いたしました。

今後も、定期開催や他の地域での開催を含め、農業法人・農業者の方々とJAグループとのより一層の関係強化を目指してまいります。

### 平成25年度フォーラム開催内容

#### 〈札幌地区〉

平成25年11月18日（月） 於：札幌パークホテル

「JAグループ北海道 農業経営フォーラム」

#### フォーラム内容

- ①演 題：「北海道の農業情勢について～ずっと愛され輝きを増す北海道農業を目指して～」  
講 師：北海道 農政部長 竹林 孝 氏
- ②演 題：「私が考えるこれからの農業経営」  
講 師：有限会社パインランドデーリィ 代表取締役 松村 和一 氏
- ③演 題：「環境の変化を見据えた、これからの農業法人経営」

コーディネーター：一般社団法人北海道地域農業研究所 所長 黒河 功 氏

パネリスト：北海道 農政部長 竹林 孝 氏

有限会社パインランドデーリィ 代表取締役 松村 和一 氏

有限会社毛陽農産 代表取締役 東井 源 氏

ホクレン農業協同組合連合会 代表理事常務 板東 寛之 氏

株式会社農林中金総合研究所 調査第一部長 斉藤 由理子 氏



#### 〈釧路地区〉

平成26年2月6日（木） 於：ANAクラウンプラザホテル釧路

「JAグループ北海道 農業経営フォーラムin釧路」

#### フォーラム内容

- ①演 題：「TPPを巡る情勢と今後の農業について」  
講 師：株式会社農林中金総合研究所 理事研究員 石田 信隆 氏
- ②演 題：「北海道内におけるバイオガスプラントの現状と課題」  
講 師：ホクレン農業総合研究所 顧問 松田 従三 氏



※両地区とも、フォーラム終了後には情報交換を目的とした交流会を開催いたしました。

# 社会的責任と地域貢献活動

## 地域社会とのふれあい

各JAの窓口で年金を受け取られている皆さまが中心となって、年金友の会をつくり活動を行っておりますが、当会は、各JAを通じてこれらの活動を支援し、健康で楽しく暮らせる明るい地域社会づくりに協力しております。



## 高齢化社会と年金相談

高齢化社会を迎え年金受給者は大幅な増加傾向にあります。JAバンクは、新規に年金を受け取られる方への受給手続相談、既受給者に対する「貰い忘れ年金」相談など、年金に関する幅広い相談に対応できる相談窓口の充実に取り組んでおります。年金に関するご質問等は、最寄りのJA窓口へお尋ねください。

## 社会福祉充実への貢献

当会では、道内JAとともに地域貢献活動を平成13年度より実施しており、その一環として平成21年度よりAED（自動体外式除細動器）の寄贈を行っております。

寄贈先はJR北海道および平成13年度より8年間に亘り車を寄贈した道内の社会福祉協議会に対して行っており、JR北海道が実施中の各主要駅に対するAED配置計画と連携し、新規配置予定分および既存機器の更新分をJAバンクの寄贈AEDにより対応しております。

平成25年度はJR北海道へ7台（小樽駅、琴似駅、江別駅、北広島駅、千歳駅、岩見沢駅、美唄駅）、道内の社会福祉協議会（天塩町）へ1台の計8台を寄贈し、万一の時の備えとして、またJR駅職員や地域住民の救命講習等に活用されております。



贈呈式：平成25年10月7日（月） 天塩町社会福祉協議会にて  
（左から 天塩町社会福祉協議会 吉田会長、JAてしお 佐藤組合長）

平成25年度については、AED寄贈の他に、新たな社会貢献活動として障害のある子ども向けの布製の絵本および写本を作成する公益財団法人「ふきのとう文庫」に対し、絵本等作成に係る協賛金を寄付しております。

当会は、今後も「一人は万人のために、万人は一人のために」の精神に基づき、社会福祉への協力と地域社会とのコミュニケーション充実のため、道内JAと連携し、「JAバンク北海道」として積極的に地域貢献活動に取り組んでまいります。

## 北海道JAバンク食農教育応援事業の展開

JAバンク北海道では、JAバンクが行う社会貢献活動として、平成20年度から「北海道JAバンク食農教育応援事業」を展開しています。この事業はJAが行う食農・環境・金融経済についての教育活動をサポートするもので、全道小学校等に対する補助教材本の贈呈や小中学生などを対象とした農業体験学習などにかかる費用の助成を行っております。

### 全道小学校に補助教材本を贈呈

平成25年度は補助教材本「農業とわたしたちの暮らし」を、全道1,170校の小学校や特別支援学校に、北海道教育委員会・各市町村教育委員会等のご協力のもとに贈呈し、授業でご活用いただいております。JAバンクは補助教材本贈呈事業を通じ教育現場での食農教育を応援しています。



〈北海道教育委員会への教材本贈呈〉



〈JA新しのつから小学校へ教材本贈呈〉

### JAグループが行う食農・環境・金融経済教育事業のサポート

全道の各JAやJAの青年・女性部組織は地元の子どもたちに食や農業などの教育活動を行っています。平成25年度は58のJAや組織が農業体験学習や学校給食食材提供、料理教室など82の活動を行いました。

JAはこうした活動を通じ社会貢献を実施しており、JAバンクは助成事業を通じこれらの活動をサポートしています。



〈JAグループ北海道サンクスマッチ〉



〈JA北宗谷・野菜作り体験〉

# 社会的責任と地域貢献活動

## 環境保全への取り組み

当会は、社会の一員として環境への負荷を認識し、省資源・省エネルギー・リサイクルにも配慮し、環境負荷の低減に努め、地球温暖化対策や循環型社会の構築へ向けた取り組みを図るように努力してまいります。

### ■全会的な環境負荷低減への取り組み

平成18年度から、地方5支所（岩見沢・旭川・帯広・北見・釧路）も参加した当会全体としての環境保全行動計画を策定し、環境負荷低減に取り組んでおります。

平成24年～平成26年度は、3ヶ年計画を策定し、「節電への取り組み」、「ガソリン使用量削減への取り組み」、「紙使用量削減への取り組み」の3項目を目標設定の上取り組みむこととしております。

#### ①節電への取り組み

蛍光灯の間引き、室内温度管理の徹底、不在エリアの消灯等を実施し、年間を通して節電に努めております。電力需給が逼迫した平成24年度は、平成23年度の実績に対し、6.1%の削減を目標に掲げ、それを大きく上回る23.7%の削減を達成し、平成25年度も引き続き取り組みに努め、さらに前年比6%の削減率を達成しました。

#### ②ガソリン使用量削減への取り組み

ガソリンの使用による二酸化炭素排出の抑制を図るため、営業車両のハイブリッド車等の低燃費車へ、切替えを順次行っております。

#### ③紙使用量の削減

省資源への取り組みとして、平成24～26年度の3ヶ年で、紙使用量を平成23年度比2.7%削減することを目標に取り組んでおります。

#### ④クールビズ・ウォームビズの実施

地球温暖化防止および節電対策の一環として、クールビズ・ウォームビズを実施しております。

### ■札幌市における環境保全活動への取り組み

当会では、平成15年に施行された「札幌市生活環境の確保に関する条例」に基づき、平成15年度から3ヶ年毎に環境保全行動計画を策定し、二酸化炭素排出削減をはじめとする、環境負荷低減の活動に取り組んでおります。

#### 3ヶ年計画（平成24～26年度）の取り組み

札幌市内の事業所における二酸化炭素排出量について、電気・ガソリン・重油および天然ガスの削減に努め、3ヶ年で平成23年度の実績比19.8%の削減を目標として取り組みます。

～ 二酸化炭素排出削減の25年度実績 ～

(単位:t-CO<sub>2</sub>)

	平成25年度実績	平成24年度実績	削減量	削減率
CO <sub>2</sub> 排出量	536	748	▲212	▲28.3%